



株式会社 **ニッカリ**



ニッカリ刈払機

取扱説明書

SED2200

SED2300

SED2700



このたびは、ニッカリ刈払機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。



ご使用前に必ずこの取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。



取扱説明書は大切に保管してください。

目次

重要なお知らせ	1
型式の確認	2
本体と付属品・添付品	2
1. 安全上の注意	
1.1 警告表示について	3
1.2 警告表示マーク	4
1.3 安全にご使用いただくために	5
2. 各部のなまえ	
.....	12
3. 組立て	
3.1 本機の取り付けと調節	13
4. 始業前点検と試運転	
4.1 定期点検表と注意事項	18
4.2 始業前点検	18
4.3 試運転と調整	21
5. 移動と作業前準備	
5.1 移動するとき	22
5.2 作業時の服装	23
5.3 肩掛けバンドの使いかた	23
6. 運転方法	
6.1 始動のしかた	24
6.2 停止のしかた	26
7. 操作方法	
.....	27
8. 作業終了後	
.....	29
9. 点検整備	
9.1 定期点検表と注意事項	30
9.2 10時間毎点検	31
9.3 20時間毎点検	32
9.4 50時間毎点検	33
10. 保管	
10.1 日常の保管	34
10.2 長期保管	34
11. 故障と対策	
.....	35
12. 付表	
12.1 主要諸元	36
13. 振動障害の予防	
.....	39
14. 保証とアフターサービス	
.....	41



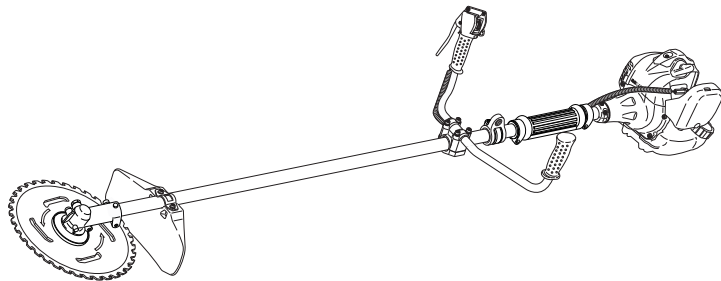
重要なお知らせ

- 本製品は、草刈作業のみに使用してください。改造や使用目的以外の作業はしないでください。改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になります。また、部品は必ず純正部品を使用してください。
- 本書は、SED2200、SED2300、SED2700の3機種を共用して説明しています。
- 機種によって使える機能や操作が一部異なります。本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は、取扱い上の注意事項および製品の使用方法について記載しております。ご使用前には必ず熟知するまでお読みいただき、正しくご使用ください。
- ご使用后、必ず製品と一緒に、この取扱説明書も保管し、分からないことがあった場合等、内容を確認してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにご購入先にご注文ください。
- この刈払機は、国内での使用を前提にしています。したがって、海外諸国での安全規格等の適用・認定等は実施していません。この刈払機を国外へ持ち出した場合に当該国での使用に対し、事故等による補償等の問題が発生することがあっても、当社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。
- 本製品を譲渡または貸与する場合は、取扱説明書の内容を十分理解してから作業されるよう指導し、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書は著作権を有します。この取扱説明書の全体もしくは部分的にも、当社の事前の文書による同意なしに複写、コピー、翻訳してはならず、また読み取りのできるいかなる電子装置や機械にも転写しないでください。
- この取扱説明書の内容は、品質・性能向上あるいは安全上、変更を行うことがあります。その際は、本書の内容およびイラスト等の一部が、本製品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 部品のご入用、故障の場合、ご不明な点がございましたら、ご購入先へお問い合わせください。

型式の確認

この取扱説明書では、同じシリーズの型式・区分の刈払機について併記しています。
お買い上げいただいた刈払機の型式・区分を機体に貼付してある銘板で確認され、該当部分をお読みください。

◆銘板の位置



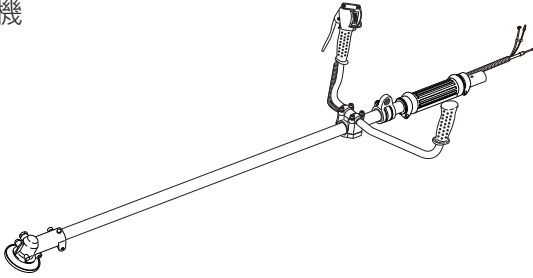


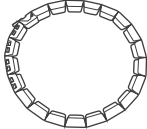
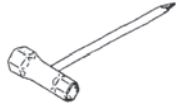




(例)

型式	SED2700
機番	006056

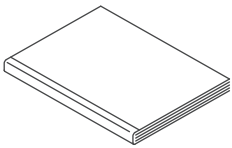
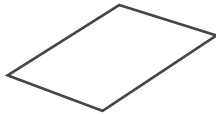
本体と付属品・添付品

本体と付属品・添付品を確認してください。万一、不備な点がございましたら、お買い上げ先へお申し付けください。(本体とエンジンは別梱包となります)

◆本体と付属品

<input type="checkbox"/> 本機 	<input type="checkbox"/> 肩掛けバンド 		
<input type="checkbox"/> 保護メガネ 	<input type="checkbox"/> 刈刃プロテクタ 	<input type="checkbox"/> ソケット、ドライバ 13×19 	
<input type="checkbox"/> L レンチ 4mm 	<input type="checkbox"/> L レンチ 5mm 	<input type="checkbox"/> スパナ 8×10 	<input type="checkbox"/> SED2200 回り止め棒 

◆添付品

<input type="checkbox"/> 取扱説明書 (本書) 	<input type="checkbox"/> 保証書 
--	---





1. 安全上の注意

1.1 警告表示について

本刈払機を正しくお使いいただくために、この取扱説明書の指示に従って操作・保守を行ってください。




また、刈払機で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルを貼付しています。取扱説明書および警告ラベルでは、危険の程度を表す方法として次の表示で区分しています。

◆表示の説明

 危険	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
 警告	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
 注意	その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあるものを示します。
	知っておくと役に立つ情報や便利なこと等を示します。
お願い	製品のために守っていただきたいことを示します。

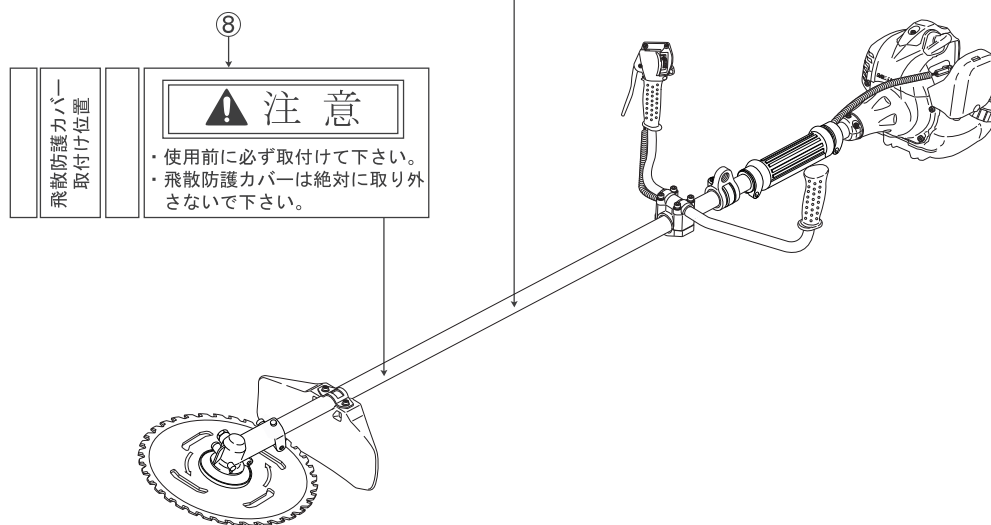
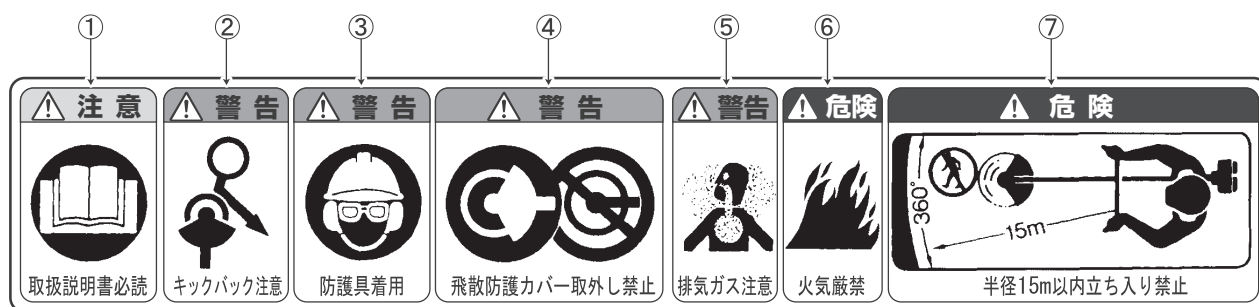
◆図記号の意味

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味で区分しています。

(例) 	注意の喚起	この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。 (左図の場合は爆発注意)
(例) 	禁止行為	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。 (左図の場合は立入禁止)
(例) 	強制行為	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。 (左図の場合は防護具着用)

1.2 警告表示マーク

- 本製品には、下記の警告ラベルが貼付してあります。ご使用前に、必ずよく読み、注意に従ってください。
- 警告ラベルは汚れや破損のないようにしてください。万一、ラベルが読めなくなった場合は、新しいラベルに貼り替え、常にマークが読めるようにしてください。新しいラベルはお買い上げ先で購入してください。



①	使用前に取扱説明書を必ず読み、理解してください。
②	キックバックによりケガをするおそれがあるので、障害物に刈刃を接触させないでください。
③	作業中は目や耳、頭部の保護具を必ず着用してください。
④	飛散防護カバーを取り外して使用しないでください。外して使用すると、死傷事故のおそれがあります。
⑤	排気ガスには、人体に有害な一酸化炭素が含まれています。通気の悪い場所で使用しないでください。
⑥	引火しやすいガソリンを燃料としています。火気に注意してください。
⑦	作業中は、半径 15 m 以内に人、動物を入れないでください。
⑧	飛散防護カバーは必ずこの位置に取り付けてください。飛散防護カバーを取り付けずに使用すると思わぬ事故につながるので、絶対に取り外さないでください。

1.3 安全にご使用いただくために

本刈払機を安全にご使用になるための注意事項を記載しています。よく読んで理解し、必ず守ってください。

■ 全般的なこと

⚠ 危険



長袖、長ズボンを着用し（袖じまり、裾じまりのよいもの）、頭部にはヘルメット等、JIS等の規格に合格した保安帽を着用してください。また、手袋、保護メガネ、耳栓を付け、足もと保護のため保護靴を履いてください。

※ 転倒、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

トリガーレバーをひも等で固定しないでください！

※ エンジン始動、転倒時、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 警告



枝打ち作業等には絶対に使用しないでください。

本刈払機は雑草を刈るために設計・製造されています。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

こんなときは運転をしないでください。

● 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により、正常な運転操作ができないとき。

● 若年者・18才未満の人。

● 妊娠している人。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

子供や取り扱いの指導を受けていない人には使用させないでください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

取り扱いの指導を受けていない人や扱いに不慣れな人には刈払機を貸さないでください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

足場が不安定なところや雨天等で滑りやすいとき、夜間や霧等で視界が悪いときは作業をしないでください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。



飛散防護カバーは必ず所定の位置に取り付けてください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

■ 使用の前に

◆機械の点検

⚠ 危険



燃料の補給はエンジンが冷えていることを確認してから行ってください。

燃料の補給やエンジンの手入れをしているときは、絶対にタバコを吸ったり、火気を近づけないようにしてください。補給中に燃料をこぼしたときはウエス等で十分に拭き取ってください。

※ 燃料に引火し、ヤケドや火災等を引き起こすおそれがあります。

⚠ 警告



刈刃は、確実に取り付けられているか、目立はどうか、損傷はないかを確認し、異常がないことを確認してから使用してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

飛散防護カバー、肩掛けバンドは必ず取り付けてください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 注意



混合比を間違えないでください。

2サイクルエンジンですので、燃料は自動車用無鉛ガソリンと2サイクル用エンジンオイルを混合し、よく混ぜ合わせて使用してください。

※ 混合比を間違えると、エンジンの焼き付きや摩耗を起こすおそれがあります。



各部のゆるみがないか、オイル、グリス、燃料が入っているか、燃料漏れがないかを点検し、異常がないことを確認してから使用してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

◆作業場所の点検

⚠ 危険



刈払機の作業員から15 m以内を危険区域とし、この中に作業員以外の人が入らないようロープで囲う、立て札を立てる等の警告をしてください。

数台同時に作業するときもこの距離は守ってください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

注意



空缶、針金、小石等の有無を確認し、ある場合は取り除いてから作業してください。
※ 破損した刈刃の破片の飛散等により、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

◆作業時間

注意



長時間連続して作業をしないでください。
30分作業したら、10～20分休憩してください。
国有林では、作業者の健康管理のため下記のとおりです。

- 1回の連続作業時間 30分以内
- 1日の作業時間 2時間以内
- 1週間の作業日数 5日以内
- 1カ月の作業時間 40時間以内

※ 疲労により、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

◆エンジンの始動

注意



屋内では始動しないでください。
※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。



エンジンを始動するときは、周囲（15 m 以内）に十分注意し、刈刃は地面に触れないようにしてください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

始動は燃料補給場所とは異なるところで行ってください。

※ 燃料に引火し、ヤケドや火災等を引き起こすおそれがあります。

始動するとき、スロットルレバーはアイドリングの状態にしてください。

トリガーが地面にあたっていないか確認してください。

※ 刈刃が回転し、傷害事故を起こすおそれがあります。

回転を上げる場合は急激に上げず、徐々に回転を上げてください。

※ エンジンの急加速は機体への悪影響や、傷害事故につながる場合があります。



排気を吸わないよう注意してください。

※ 排気ガスによる中毒を起こすおそれがあります。

■ 移動時

⚠ 注意



自転車やオートバイの荷台に載せて移動しないでください。
※ 刈払機が落下し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



本機を移動するときは、必ずエンジンを停止し、刈刃プロテクタを刈刃に付けてください。
※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

トラック等の荷台に本機を積み、移動する場合は、動かないようにしっかりと固定してください。

※ トラックから刈払機が落下し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

■ 作業時

⚠ 危険



作業状態のまま急に振り向かないでください。
後ろから声をかけられた場合、必ずエンジンを一時停止してください。
※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

エンジンがかかっているときは絶対に刈刃や飛散防護カバーに触れないでください。
※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

作業中は点火プラグキャップ部、高圧線に触れないでください。
※ 電気ショックを受ける可能性があります。

エンジン停止後は、マフラが熱いので枯草等燃えやすい場所へ、絶対置かないでください。
※ 枯草等に引火し、ヤケドや火災の原因になります。

⚠ 危険



危険を感じたときは直ちにエンジンを停止するか、肩掛けバンドを外す等、刈払機を身体から離してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

異常な振動・音を感じたときには、すぐにエンジンを停止し各部の点検修理をしてください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

ハンドルは、両手でしっかり握り、両足に平均に体重がかかるよう適当に開いてご使用ください。

※ 転倒、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

足を滑らせて転んだときや穴に落ち込んだときは、必ずスロットルレバーを戻し、刈刃を地面に突き刺して、回転を止めてください。

※ 転倒、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



燃料は、引火しやすいので注意してください。

※ ヤケドや火災の原因になります。

⚠ 警告



草刈作業以外に刈刃を回転させたり、水や土を切ったりしないでください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

エンジン始動・運転中・停止直後は、しばらくはエンジン本体、マフラ等に触れないでください。

※ ヤケド等、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

飛散防護カバーは絶対外さないでください。

飛散防護カバーは必ず所定の位置に取り付けて作業してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。



刈刃は必ずメーカー指定の純正部品を使用してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 注意



作業中に立ち話は絶対しないでください。

話をするときはエンジンを止めてください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

 **注意**



作業を始めるときは、足場・周囲の状況をよく確認してから、ゆっくり始めてください。
刈刃部に草等が巻き付いて刈刃が停止した場合は、必ずエンジンを停止してください。
回転が止まったことを確認してから草等を取り除いてください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

ハンドル等をしっかりと握ってください。

エンジンが回転すると逆方向に力がかかる場合（スラスト）があります。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

2人以上で作業する場合は呼笛等で、合図の方法をあらかじめ決めて、合図の徹底を図ってください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

作業者に近づく場合は、合図をしエンジンが停止したことを確認してから、必ず前方から近づいてください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

草刈作業は腕力で振り回したりせず、足場のよいところで、正しい姿勢でバランスを取って行ってください。

※ 転倒し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

エンジンの回転速度をむやみに上げず、メーカーの推奨する回転速度を守ってください。

※ 無理な空ぶかしは機械の寿命を縮める原因になります。

スロットルレバーはゆっくり操作してください。

※ エンジンの急加速は機体への悪影響や、傷害事故につながる場合があります。

刈刃は石や切株等の硬いものに当てないようにしてください。

万一、当てたときは、すぐにエンジンを停止し、刈刃に異常がないかを確認してください。異常があった場合は作業を中止し、新しい刈刃に交換してください。

※ 刈刃の破損や傷害事故を引き起こすおそれがあります。

場所を移動するとき、刈払機を地面に降ろすとき、作業を中断するときは必ずエンジンを停止してから行ってください。

※ 刈刃の破損や傷害事故を引き起こすおそれがあります。

■ 作業後

◆使用後の手入れ

警告



各部の締め付けネジのゆるみがないか、刈刃に損傷がないかを点検し、ネジのゆるみがあれば締め付け、刈刃に損傷があった場合はメーカー指定の純正の刈刃と交換してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

ボルトカバーの接地部分の摩耗状態を確認し、部材肉厚が薄くなっている場合は交換してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

点検整備・給油等は必ずエンジンを停止してから行ってください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

部品を交換する場合は、必ずメーカー指定の純正部品をご使用ください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

高温部の清掃をするときは、冷えてから行ってください。

※ ヤケド等、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

◆保管

注意



燃料を保管する場合、ポリ容器は使用しないでください。

※ 1 カ月以上ポリ容器に入れておくと燃料が腐ります。



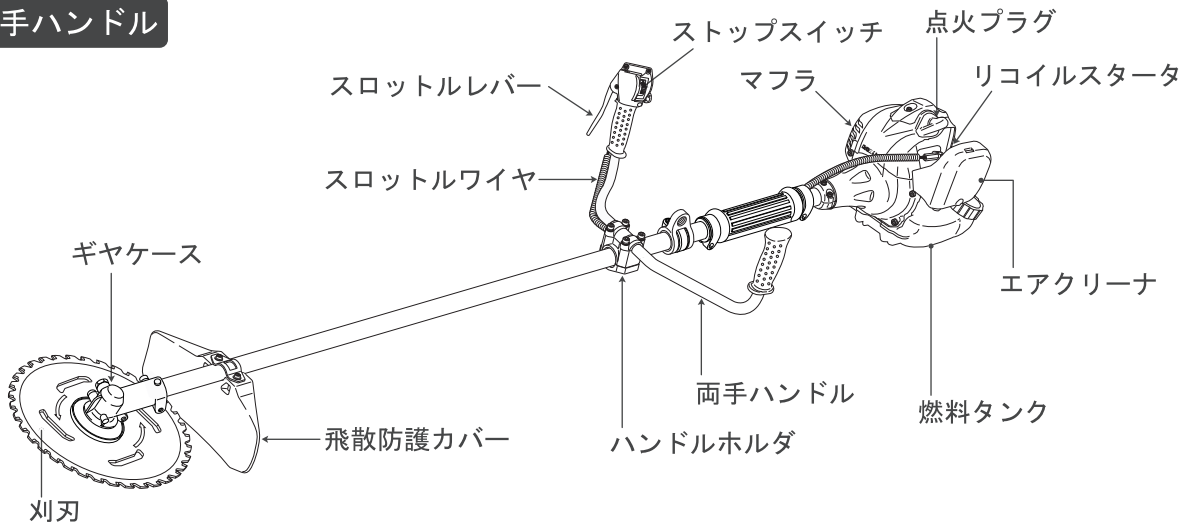
子供の手の届かないところに保管してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

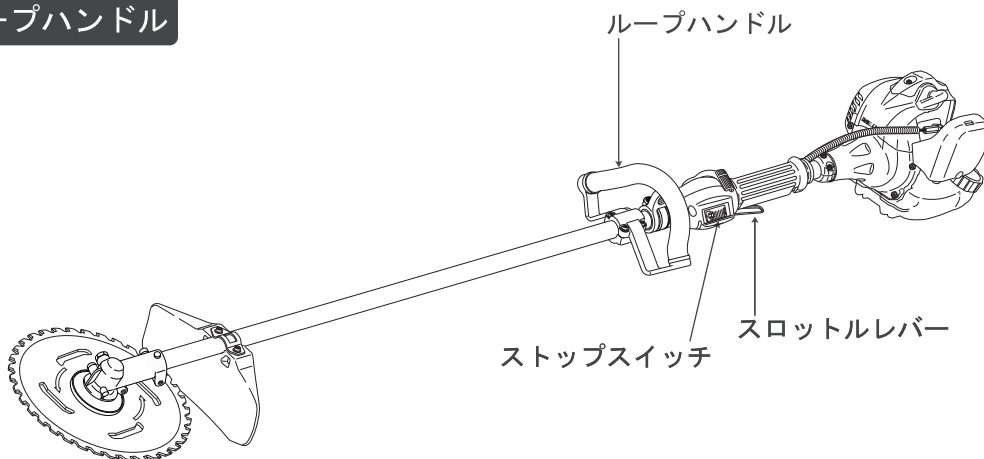
2. 各部のなまえ

イラストはSED2700になります

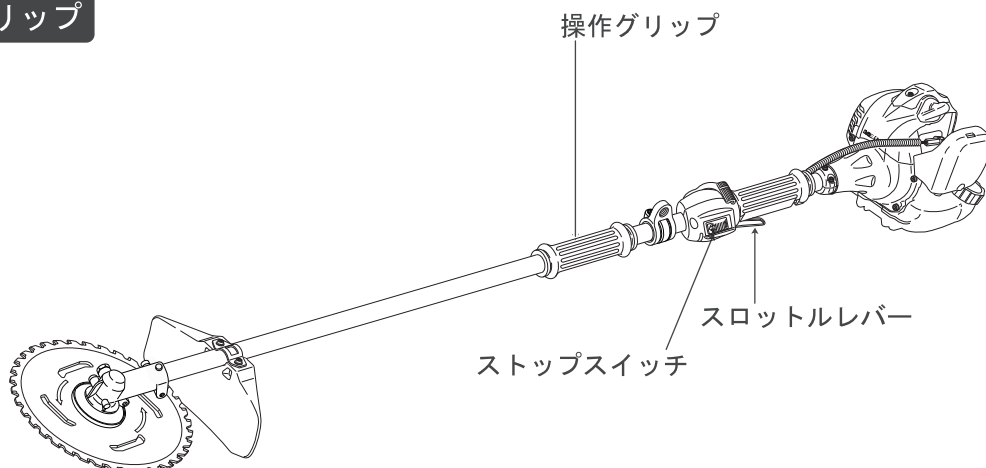
両手ハンドル



ループハンドル



2グリップ

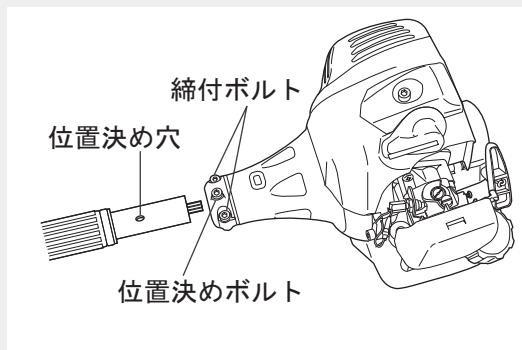


3. 組立て

3.1 本機の取り付けと調節

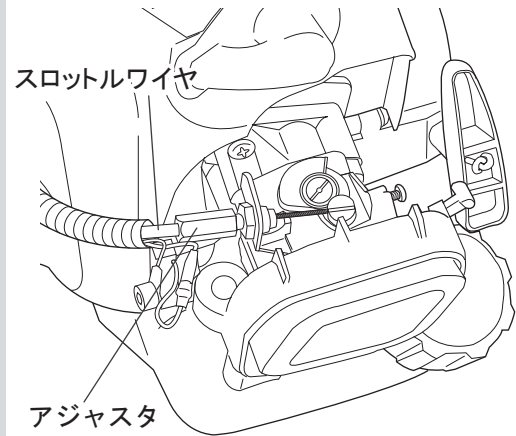
■ エンジン

- 1 駆動軸を保護しているキャップを取り外し、パイプの位置決め穴をエンジンの位置決めボルトまで差し込みます。
- 2 締付ボルトと位置決めボルトを締付けます。締付ボルトは交互に均等に締付けてください。
締付けトルク：締付ボルト 4.0~4.5Nm
位置決めボルト 4.0~4.5Nm



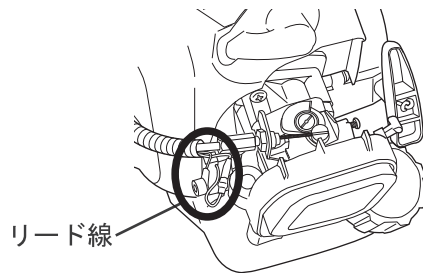
■ スロットルワイヤ

- 1 エアクリナーカバーを外します。
- 2 スロットルワイヤをグリップ下部の穴からマフラ側に回します。
- 3 スロットルワイヤをアジャスタに通しキャブレタに接続します。
- 4 エアクリナーカバーを元どおり取り付けます。



■ リード線

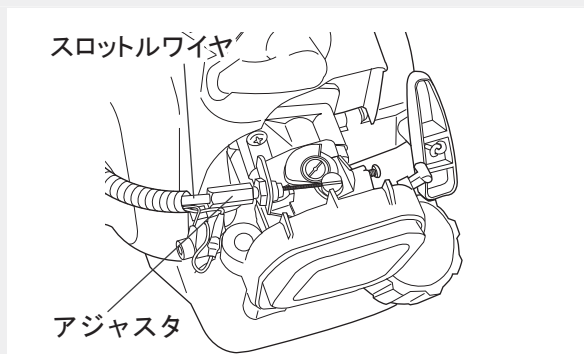
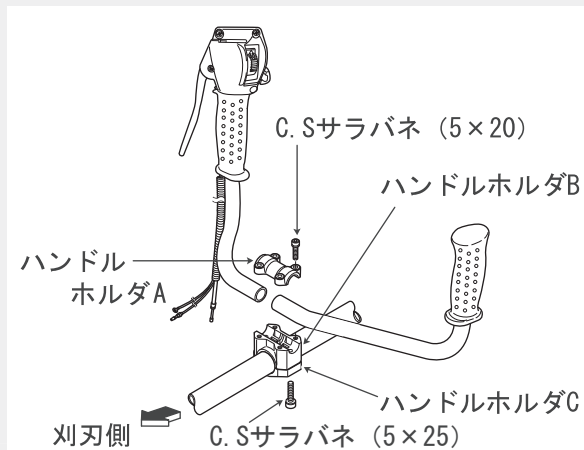
リード線を接続します。
一本はエンジンからの線と接続し、一本はエンジンに共締めします。



■ ハンドル

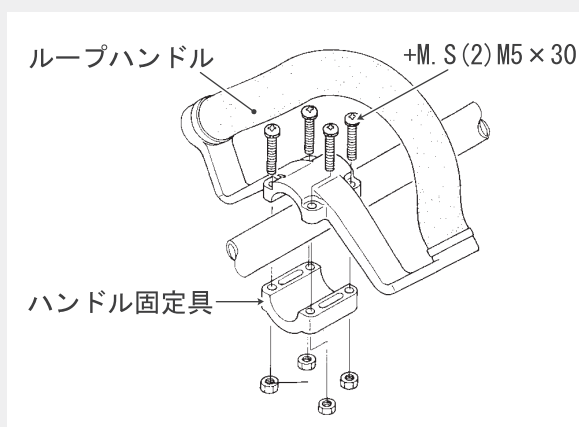
◆両手ハンドル

- 1 両手ハンドルをハンドルホルダB に載せます。
- 2 ハンドルホルダA をかぶせ、ハンドルホルダC をC.S サラバネ (5×20) 4本で締め付けます。
 - 使用者の体格に合わせ、下部のC.S サラバネ (5×25) をゆるめて前後に調節できます。
- 3 ハンドル取り付け後は、アジャスタでワイヤの調整をします。
 - 1~2 mm の遊びを持たせてください。



◆ループハンドル

- 1 ハンドル取り付け位置と表示してあるところにループハンドルを載せます。
- 2 ループハンドルとハンドル固定具を+M.S(2)M5×30 で均等に締め付けます。
- 3 ハンドル取り付け後は、アジャスタでワイヤの調整をします。
 - 1~2 mm の遊びを持たせてください。



■ 飛散防護カバー

⚠ 警告



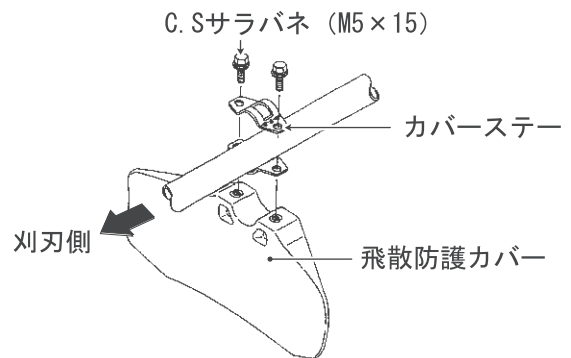
飛散防護カバーは必ず取り付けてください。

※ 守らないと、小石・切屑等の飛散による傷害事故を引き起こす原因になります。

1 飛散防護カバー取付位置と表示してあるところでカバーステーでパイプを挟み込みます。

2 飛散防護カバーを取り付けます。

イラストはSED2700



■ 刈刃

⚠ 危険



2枚刃および3枚刃は絶対に使用しないでください。

※ 衝撃が大きいため、傷害事故につながるおそれがあります。



刈刃は決められた部品と工具で確実に締め付けてください。

※ 締め付けが不完全だと、作業中に刈刃が外れ、傷害事故につながるおそれがあります。

刈刃は、良く切れる状態か、刃こぼれ、曲り割れ等がないか点検してください。

※ 刈刃の破損や傷害事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 注意



SED2200には、ナイロンカッターは使用しないでください。

※ 機械に負担がかかり、破損の原因になります。



刈刃は石や切株等の硬いものに当てないようにしてください。

万一、当てたときは、すぐにエンジンを停止し、刈刃に異常がないかを確認してください。異常があった場合は作業を中止し、新しい刈刃に交換してください。

※ 刈刃の破損や傷害事故を引き起こすおそれがあります。

刈刃の取り付け・取り外しのときは、手袋をして作業してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

◆刈刃の仕様

- 刈刃の外径はSED2200、SED2300は230 mm (9インチ)、SED2700は255mm (10インチ)、またはそれ以下のものを推奨します。

◆取り付け

1 次の順序で取り付けます。

- (1) 刃受金具 (巻付防止カバー付)
- (2) 刈刃
- (3) 刃押え金具
- (4) ボルトカバー
- (5) 刈刃締付ボルト (左ネジ)

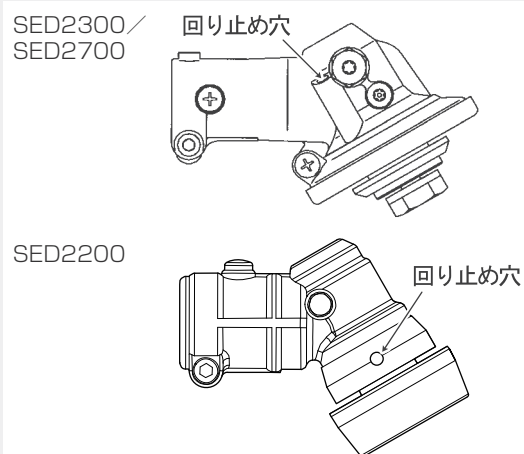
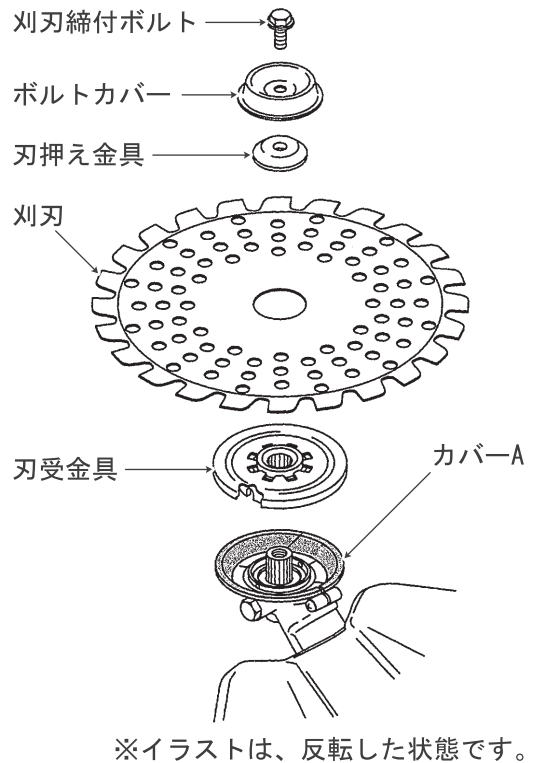
2 工具で刃受金具を固定します。

- Lレンチ4mmでギヤケースの穴と刃受金具の切り込みで固定します。
- SED2200は回り止め棒を使用します。

3 刃受金具が固定されていることを確認し、ソケットレンチで十分に刈刃締付ボルトを締め付けます。

締め付けトルク：17～20Nm

締め付けはトルクレンチで確認してください。



◆取り外し

取り付けと逆の手順で実施してください。

4. 始業前点検と試運転

4.1 定期点検表と注意事項

警告



各部の締め付けネジのゆるみがないか、刈刃に損傷がないかを点検し、ネジのゆるみがあれば締め付け、刈刃に損傷があった場合はメーカー指定の純正の刈刃と交換してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

点検整備・給油等は必ずエンジンを停止してから行ってください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

部品を交換する場合は、必ずメーカー指定の純正部品をご使用ください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

高温部の清掃をするときは、冷えてから行ってください。

※ ヤケド等、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

機械の寿命は、手入れの良否によります。下記の表の項目について点検整備を行ってください。

4.2 始業前点検

■ エアクリーナエレメントの汚れ

エアクリーナエレメントの汚れは、始業前に点検を行ってください。

(☞ 32 ページ)

■ ボルト、ナットのゆるみ点検

ボルト、ナットのゆるみは、始業前に点検を行ってください。